



# かえる通信

みのり川信英公式ホームページ <http://minorikawa.jp>

vol.9

発行 みのり川信英後援会

## 過去最大規模の経済危機対策 景気回復に全力!

政府与党は景気回復のための追加対策として、総額十四兆円の補正予算を国会に提出し、当初予算と合わせて一般会計総額一〇二兆四七三六億円のぼる過去最大規模の経済危機対策を推進しています。

少子高齢化が進む秋田県にとって身近な対策の一つである育児支援については、今年一月からさらに上乗せして四十二万円とし、今年

年から小学校に入学する子供に対しても一人当たり三万六千円の特別手当が支給されます。また、妊婦健診の無料化や保育料の無料化などが盛り込まれています。ほかにも再就職支援



## 農業経営の安定と所得増大に向けて 水田フル活用推進

農産物価格の低迷や肥料・燃料の高騰などに対応し、農家の借入金を軽減し経営の安定化と所得の増大をはかるため、農林水産分野には当初と補正予算で総額三兆六千億円の経済危機対策予算を盛り込んでいます。

農業対策の大きな目玉は、休耕地や耕作放棄地をなくすための「水田フル活用」の推進です。これは食料自給率向上の



別表

(単位:円/10a)

助成対象作物	水田等有効活用促進交付金	水田経営所得安定対策(旧品目横断的経営安定対策)		需要即応型生産流通体制緊急整備事業(新規補正)	助成金合計
	面積払	固定払	成績払		
大豆	35,000	20,000	7,000	15,000	77,000
小麦	35,000	27,000	13,000	15,000	90,000
飼料作物	35,000(+13,000)	-	-	15,000	65,000
米粉・飼料用米	55,000	-	-	25,000	80,000

・経営所得安定対策は、集落営農組織や認定農業者などの担い手対象者  
・飼料作物の13,000円/10aは、耕畜連携水田活用対策事業費の助成金(上限額)  
・需要即応型生産流通体制緊急整備事業の助成額は取組内容に応じた最大額別

## 第六十回結核予防全国大会式典 天皇后陛下のご臨席の下、外務省を代表して祝意

三月十八日、天皇后陛下及び秋篠宮妃殿下のご臨席の下、都内で財団法人結核予防会の創立七十周年記念第六十回結核予防全国大会式典が開催され、御法川外務大臣政務官が出席しました。

外務省を代表して挨拶を行った御法川外務大臣政務官は、結核予防会の創立七十周年について祝意を述べるとともに、結核予防会が行ってきた日本国内の結核対策及び途上国における結核対策支援に

対する敬意を表明しました。また、御法川外務大臣政務官は、外務省が世界の貧困を減らし人間の安全保障を促進するため、感染症対策を含む保健分野の国際協力として取り組んできたことを紹介し、昨年七月に発表した「ストップ結核ジャパン・アクションプラン」のよう

な官民のパートナーシップの成果を生かし、国際的な結核対策を進めていくとの考えを述べました。

大会には功労賞を受賞された方を含め、十数人が秋田

から先立って、御法川政務官は、ご臨席された天皇后陛下、秋篠宮妃殿下にごあいさつをされましたが、天皇后陛下にお言葉を賜ったときは、感極まつたと言葉が出なくなりました。

大会には功労賞を受賞された方を含め、十数人が秋田

から先立って、御法川政務官は、ご臨席された天皇后陛下、秋篠宮妃殿下にごあいさつをされましたが、天皇后陛下にお言葉を賜ったときは、感極まつたと言葉が出なくなりました。

大会には功労賞を受賞された方を含め、十数人が秋田

から先立って、御法川政務官は、ご臨席された天皇后陛下、秋篠宮妃殿下にごあいさつをされましたが、天皇后陛下にお言葉を賜ったときは、感極まつたと言葉が出なくなりました。



から先立って、御法川政務官は、ご臨席された天皇后陛下、秋篠宮妃殿下にごあいさつをされましたが、天皇后陛下にお言葉を賜ったときは、感極まつたと言葉が出なくなりました。

大会には功労賞を受賞された方を含め、十数人が秋田

から先立って、御法川政務官は、ご臨席された天皇后陛下、秋篠宮妃殿下にごあいさつをされましたが、天皇后陛下にお言葉を賜ったときは、感極まつたと言葉が出なくなりました。

大会には功労賞を受賞された方を含め、十数人が秋田

から先立って、御法川政務官は、ご臨席された天皇后陛下、秋篠宮妃殿下にごあいさつをされましたが、天皇后陛下にお言葉を賜ったときは、感極まつたと言葉が出なくなりました。



御法川信英

## 新型インフルエンザ

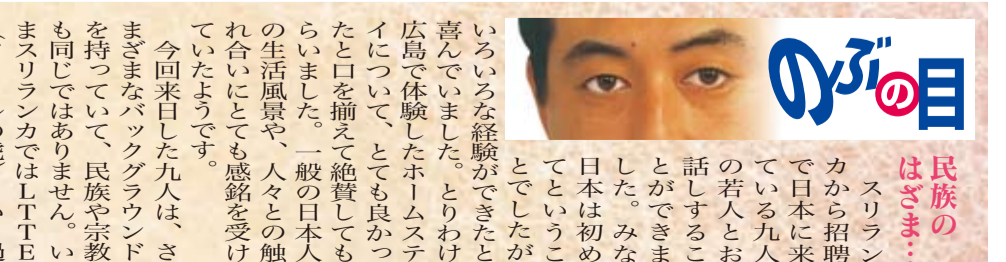
～うわさに惑わされず冷静な対応を～

メキシコを中心に新型インフルエンザの感染が拡大し、日本国内にも感染者が確認されるなど世界的な広がりを見せています。国は今後も水際対策を徹底すると共に、感染の疑いがある人を追跡して問診を行ったり、指定の医療機関などに受診の手配をする発熱相談センターを全国に設置するなど可能な限りの体制を敷いています。

しかし、新種のウイルスが発生したからといっても、インフルエンザウイルスであることに変わりはありません。感染を予防するためには、通常のインフルエンザ感染予防策が有効ですので、外出しなければならぬときにはマスクを着用し、頻りに「うがい、手洗い、栄養価のある食事摂取、十分な睡眠」を徹底し、健康的な生活リズムを維持することが大切です。

その上で大切なことは「うわさ」に惑わされず、信頼できる情報に基づき冷静に対応をすることです。現在、様々な報道がなされていますが、新型インフルエンザのことで相談したい場合は、まずは最寄の保健所に連絡しましょう。

その他にも、土地改良負担金の金利を三年間ゼロにし、スーパーL資金や農業近代化資金の借入金利も無利子にするなど、困り手を導入する農業用機械等のリース料の一部を支援対象に据えて十二パーセントから五十パーセントの範囲内で助成します。



スリランカから招聘されている九人の若人とお話することができました。みな日本は初めてというところでしたが、いろいろな経験ができたと言っていました。とりわけ広島で体験したホームステイについて、とても良かったと言っていました。一般の日本人の生活風景や、人々との触れ合いにとても感銘を受けていたようです。